

## 大地震と津波を想定した避難訓練が実施されました。



11月8日、島根半島沖を震源とする地震と津波を想定した防災訓練が平田地域の北浜地区を主会場に行われました。

島根半島沖にある断層を震源にマグニチュード7.7の地震が発生して、震度7を観測、河下港では、20分後に最大4.5メートルの津波が到来するという想定で行われました。

住民のみなさんをはじめ約千人が参加し、防災行政無線などによる情報伝達や高台への避難などに取り組みました。

訓練後には、研修会も行われ、災害に備えて意識を高めました。

## 大社高校サッカー部が全国高等学校サッカー選手権大会出場決定を市長に報告

11月17日、第99回全国高等学校サッカー選手権大会(12月31日開幕)への出場を決めた大社高校サッカー部の藤田隆寛主将と後長直樹監督が出雲市役所を訪れ、長岡市長に出場を報告しました。

同7日に行われた島根県大会決勝では、PK戦までもつれる激闘を制して、5年ぶり10回目の全国大会出場を決めました。

藤田主将は、大会に向けて「チームの目標であるベスト8をめざして、悔いの残らない試合をしたい」と抱負を語ってくれました。

大社高校の初戦は、年が明けた令和3年1月2日に行われ、東京A代表の堀越高校と対戦します。



## 出雲新そばまつりが開催されました。

出雲そばを活用して地域を盛り上げようと企画された「出雲新そばまつり」が11月22日、朱鷺会館で行われました。

出雲そばりえの会、JA神門そばの会、原田そば同好会のみなさんが屋台を出店し、来場者はおいしそうにそばを食べていました。

また、JAしまねと出雲農林高校そば部が講師となり、そば打ち指導を行い、参加者は自らが打ったそばをうれしそうに持ち帰っていました。

## 神門通りに新たな魅力 地元企業の制作による縁台と行灯がお披露目されました。

11月24日、稲佐の浜で執り行われた神迎神事にあわせ、出雲大社の勢溜で、縁台と行灯のお披露目が行われました。縁台は出雲ブランド商品に認定された畳と椅子を使い、地元企業の制作によるもので、行灯は神門通りの街灯のデザインを担当されたデザイナーによるものです。

神門通りに設置された縁台は座り心地がよく、勢溜から出雲大社前駅まで並べられた行灯のあかりは神門通りを幻想的な雰囲気にも照らしていました。

来年1月26日の「出雲の日」をはさむ「出雲ウィーク(1月25日～31日)」の夜にも神門通りに行灯が設置される予定ですので、ぜひお出かけください。



	人口	前月比
人口	174,684人	(+21)
男性	84,867人	(+43)
女性	89,817人	(-22)
世帯数	67,453世帯	(+73)

[令和2年11月30日現在]

## 1月の市税・保険料の納期限

市県民税(第4期)、国民健康保険料(第7期)、後期高齢者医療保険料(第7期)の納期限は

令和3年2月1日(月)です。

口座振替なら、対面による感染リスクを減らせます。  
安心・安全・便利な口座振替をぜひご活用ください。